

●復活後第三主日

泉のほとり

今月の詩篇「第九八編」

とどろけ、海とそこに満ちるもの
世界とそこに住むものよ。



主はよい羊飼ひ

キリストは睡で上をこねて生まれつきの盲人の目に塗り「シロアムの池に行つて洗いなさい」と言われました。盲人はその通り、シロアムへ行つて洗いました。そうすると、目が見えるようになったのです。ところがそれを喜ぶ者は誰一人いませんでした。安息日だったからです。安息日には人を治療することは禁じられていました。上をこねることもやつてはならないと定められていたと思います。それゆえに、ユダヤ人たちは盲人だったその男をフアリサイ派の人たちのところへ連れて行きました。安息日を犯した「事件」の取り調べを受けさせるためでした。

その人は取り調べの中でフアリサイ派の人たちが期待していた答えを言いませんでした。かえつてイエスさまがどこから来られたのかを知らないとは実に不思議だと、言つたのでした。「私の目を開けてくださったのです」と訴えていました。素直な心であれば、人を造られた「神の業」でなければ、生まれつきの盲人の目を開けることはできないことに気づくはずですが。しかし他のユダヤ人たちの目にはその「神の業」が見えませんでした。それどころか、イエスさまを罪人と定め、見えるようになった人を「お前は全く罪の中に生まれた」と言つて追い出してしまったのです。

イエスさまは彼が追ひ出されたことを聞かれて、彼のところに来てくださいました。「わたしはよい羊飼ひ。羊のためにいのちを捨てる。わたしの羊は、他の者たちの声には聞き従わない。わたしの声を知っている」とは、この時に話された

ことです。神の業を神の業と言ひ、狼どもの声に揺らぐことなく、ご自身のことを素直に語つていた羊をキリストは置き去りにすることはなさいませんでした。そのご自分の羊のために、盗人、強盗、狼どもの巢窟にまで来てくださったのです。

主イエスはフアリサイ派の人たちを初めとするユダヤ人たちについて、「盗人」「強盗」「雇ひ人」「狼」に例えて言われました。しかし彼らはその自分たちに気づきません。それどころか、彼らは「主は私の羊飼ひ。私は乏しいことがありません。主は私を緑の牧場に伏させ、憩ひのみぎわに伴われます」と詩篇23篇を愛唱していたと思います。すなわち、神さまを自分たちの「羊飼ひ」、自分たちを神さまの「羊」と思つていたのです。

キリストは、見えなかつたのあれば、罪はないであろう。しかし、今あなたたちは「見える」と言つているから、あなたたちの罪は残る」(ヨハネ9章4-5節)と言われました。狼どもは自分たちを羊と思つていました。もし彼らの目に狼である自分自身が見えていたら、もはや彼らは狼ではなく、羊だったはずですが。主キリストを十字架につける者ではなく、十字架を必要とする者だったでしょう。彼らと同じ罪をもつていながら、依然としてこの世には自分自身のことを「狼」と見る真実な心の人はいない。むしろ「羊」と見ている。未だ人を裁く心でありながら……

主はよい羊飼ひです。羊は羊飼ひの声を聞き分け、羊飼ひの声のみに聞き従うものです。

公 告

下記により、四月教会總會を開催いたします。現住陪餐会員はお集まり下さい。

2018年4月15日

キリスト品川教会
牧師 吉村 利雄

記

日 時

2 0 1 8 年 4 月 日 (日) 12時

場 所

グーリア・チャペル・ホール

議 題

1、菊池美穂子教師をキリスト品川教会
に副牧師として招聘する件

2、2017年度諸会計補正予算

及び決算報告、財産目録承認に
関する件

3、2017年度教勢報告承認に

関する件

4、2017年度諸報告承認に

関する件

魂の家

主よ、わたしの魂の家は

とても狭いのです。

どうか広くしてください。

あなたがお入りになれるように。

わたしの魂の家は荒れ果てています。

どうか、修理してください。

わたしの魂の家は、あなたの目に

どんなにか醜く映ることでしょう。

わたしは、自分の魂の醜さを知っています。

それをきよめてくださるのは

主よ、あなたお一人です。

隠れた罪から、わたしをきよめてください。

自分でも知らない罪から、

あなたの憐れを救ってください。

平野克己 「祈りのともしび」より

アウグスティヌスの祈り

今日のお知らせ

○今日の礼拝の中で、三月教会総会で新たに選ばれた役員の仕事式をします。

○礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスがあります。今日は「ぶどうの会」はお休みです。

○正午から四月教会總會を開きます。昨年度の決算と活動報告を聞き、それを承認する総会です。教会員はご参加ください。会計報告が状態しに配布されています。

○次回の洗礼式と転入会式は七月二十九日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は、入信記を書いて、五月六日までに牧師宛て提出ください。

○明日と明後日、事務所の職員旅行です。業務は留守番の人が対応します。



一回礼拝 (午前10時)

讃美歌 ちいさいこどもの
心をひとつに

説教 「主イエスの新しい掟」

聖書 ヨハネ13章31節～35節 (新約P195)

司式 山下純一 兄

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「いざほめ歌わん」 D.カド

○ 「ちいさいこどものサムエルは」

1. ちいさいこどもの サムエルは
かみさまのよぶこえ ききました
「サムエルよ サムエルよ」

2. ちいさいこえて きょうもまた
かみさまのよぶこえ きこえます
ぼくのなまえも わたしのも
「しもべはききます しゅよおはなしください」

アーメン

○ ピアノによる讃美

「主はよみがえられた」

○ 聖歌隊による讃美

「主は生きておられる」 編 藤本敬三
主イエスと呼びまつる 御神のひとり子
空しい墓こそが 救いのみ業証しする
たしかに 生きておられる
恐れは消え去り
御方 与えたもう よみがえりの主 あおぐ時

いつの日か 河を渡り
最後の戦いに勝利を得させたもう
今も主 生きておられるから
主が 生きておられるから
明日に目を向け のぞみに満たされ
我らも生きる 主と共に
ハレルヤ ハレルヤ

○ 讃美歌21 393番 (3面に楽譜があります)

1. ころを一つに 平和を求め
主を愛する愛 明るく燃やそう
主はぶどうの幹、われらその枝
主はわれらのもの、われら主のもの
2. 恵みの子たちよ、交わり深め
愛とまことを 互いに誓おう
われらのきずなが 弱まる時も
強めてください、主の愛により
3. 主はわれらのため 苦しみを受け
その友のために 命を捨てた
われらも互いに まことの愛を
兄弟姉妹と 共に分け合おう
4. 分かたれた民が 一つにされる
その日が来るのを われらは望もう
主の光を受け その輝きを
世界に示そう、主の弟子として

聖餐曲 「キリストはよみがえり」 J.S.バッハ

後奏曲 「フーガ」 F.メンデルズバートン

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。